

新庁舎建設

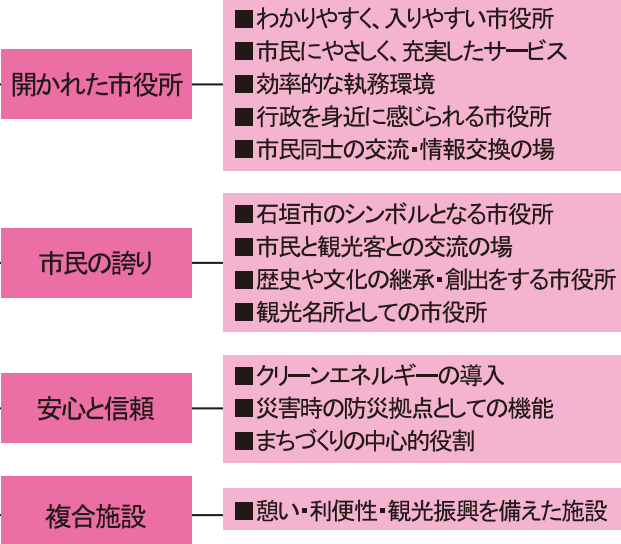


現庁舎の現状

現在、庁舎は建築から約45年が経過し、老朽化の問題を抱えています。また、庁舎等が狭いことや、バリアフリーへの対応不足、教育委員会庁舎との分散など、利用者の負担や業務の非効率化を招く課題も多くあります。以上の問題を解消するため、新庁舎建設の検討を進めています。検討は、ワークショップ等により市民の皆様にも参加いただきながら進めてまいりました。

基本理念

みんなが集う石垣市のランドマーク



基本構想

平成26年2月に新庁舎のあり方をまとめた「石垣市新庁舎建設基本構想」を策定しました。この基本構想では課題の把握や市民アンケート等を実施し、新庁舎の建設における基本理念・基本方針を整理しました。また、新庁舎に必要な面積や概算事業費の試算等を行っています。

基本計画

基本構想を踏まえ、建設位置や事業手法等を示す「石垣市新庁舎建設基本計画」を策定するため、平成26年10月に市長の諮問を受け、「石垣市新庁舎建設基本計画策定委員会」が発足しました。委員会のメンバーはまちづくり及び防災の学識者、地元の関係団体の代表者、公募市民などによって構成されています。

委員会での主な検討の経緯

現在、計6回の委員会を開き議論を深めてきました。議論に当たり、本委員会とは別に庁内委員会、地域意見交換会、議会意見の拝聴の場を設ける等、様々な意見を反映するよう取り組んでいます。

新庁舎建設の候補地については、①必要な面積が確保できること、②アクセスが容易（バスターミナルから半径5キロ以内、幹線道路沿い）、③現在特定の目的に使用されていないこと、④現地からの移転の場合には、津波浸水想定区域外であること、等の条件を考慮し、以下の3つの候補地を選定しています。

候補地 ・ 現地 ・ 空港跡地 ・ 現八重山病院

	主な検討テーマ
第1回 (平成26年10月23日開催)	防災建築の専門家による地震・津波・液状化への技術的対策の説明
地域意見交換会の開催（計5か所）	
第2回 (平成26年11月21日開催)	市民意見の把握、防災事例研究（明和大津波、東日本大震災） 石垣市の防災計画、諸計画・将来人口等から見るまちづくり
第3回 (平成27年1月30日開催)	防災事例研究（東日本大震災の災害応急対策課題） 現庁舎の周辺地域への経済評価
第4回 (平成27年5月19日開催)	候補地の決定（現地、空港跡地、現八重山病院） 緊急防災・減災事業の活用の可能性
地域意見交換会の開催（計6か所）・議会意見の拝聴	
第5回 (平成27年8月13日開催)	市民・議会からの意見把握、分庁舎の検討、事業手法の比較
第6回 (平成27年10月15日開催)	建設位置選定方式の決定 【現在ここまで開催済】
第7回	（予定）建設位置の決定

委員会の詳細（配布資料・議事録等）は石垣市企画政策課ホームページもしくは企画政策課内にて閲覧ができます。